

児童全員に「豆腐（月見の宴）」を配布 ～古来の風習にちなみ、今年で18年目～

市内の豆腐製造業者の有限会社富塚商事が、自社で製造した豆腐「月見の宴（通称：十五夜豆腐）」を、市内小学校の児童全員（計13校、7,099人）に配布します。

これは、「中秋の名月に豆腐（大豆）を供えた」という古来の風習にちなんで同社が行っているもので、代表取締役・富塚政和氏の「四季折々に行われる風習を大切にしながら、食べ物の本物の味わいを覚えて欲しい」という思いから始まりました。今年で18年目を迎えます。

同社は、9月10日（火）に市立中新田小学校（檀浦かおり校長・児童数481人）を訪れ、1年生の代表児童6人に豆腐を手渡します。

【児童への手渡しセレモニー】

日 時： 9月10日（火）13時10分から（15分程度）

場 所： 市立中新田小学校（中新田1-15-1）

その他： 当日は、市長・教育長・教育部長が同席予定です。

【参考】

有限会社富塚商事（今里3-1-1） 代表取締役 富塚政和氏

同社は、毎年1月には、市内中学校3年生全員の新たな旅立ちに向けて、願いが叶うようにと「合格祈願豆腐」の配布も行っています。

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市教育部就学支援課 電話046-235-4921